

○水生生物モニタリング調査結果一覧（請戸川N）

<請戸川N 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
N-1	○	○	○	○	○	○
N-2	○	○	○	—	○	—
N-3	○	○	○	—	○	—

<請戸川N 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)		水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)
N-1	37.4998°	140.9835°	R6.12.11	08:15	08:15	7.5	8.4	砂	7.5Y4/2	植物片	0.37	>50
N-2	37.5070°	140.9456°		10:40	10:40	8.4	8.3	砂	7.5Y6/3	なし	0.53	>50
N-3	37.4754°	140.9598°		13:40	13:40	7.2	7.7	砂	7.5Y6/3	植物片	0.60	>50

<請戸川N 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
N-1	37.4998°	140.9835°	R6.12.11	08:15	7.1	<0.5	1.1	11.7	9.2	0.05	0.7	<1	0.5	N.D. (0.0015)	0.043	0.0024
N-2	37.5070°	140.9456°		10:40	7.4	<0.5	1.3	12.3	7.7	0.04	0.7	<1	0.6	N.D. (0.0016)	0.049	—
N-3	37.4754°	140.9598°		13:40	7.8	0.5	1.2	13.1	7.7	0.04	0.6	2	0.8	N.D. (0.0014)	0.0098	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<請戸川N 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
N-1	37.4998°	140.9835°	R6.12.11	08:15	6.7	458	25.5	1.4	3.0	2.670	9.5	20.1	47.2	18.1	1.8	3.3	0.52	9.5	36	2600	0.45
N-2	37.5070°	140.9456°		10:40	7.4	499	20.3	0.8	0.3	2.620	1.2	54.8	42.6	0.2	1.2		0.93	4.8	26	1800	—
N-3	37.4754°	140.9598°		13:40	7.0	558	27.3	1.6	1.6	2.640	2.9	11.4	65.3	16.9	0.2	3.3	0.40	9.5	23	1600	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

< 請戸川N 分析項目 水生生物 >

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
N-1	請戸川本流	37.4998°	140.9835°	R6.12.11	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.030	—	—	—	892	12	880	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	227	0.014	幼虫	—	—	520	N. D. (7.0)	520	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	7	0.35	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	120	N. D. (1.6)	120	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	3	1.4	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	0.87	N. D. (0.26)	0.87	0.27
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.24	—	—	—	121.7	1.7	120	—
N-2	請戸川本流	37.5070°	140.9456°	R6.12.11	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.011	—	—	—	120	N. D. (14)	120	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	15	0.020	成体	—	—	110	N. D. (11)	110	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	0.18	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	302.9	2.9	300	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	7	1.5	未成魚	不明消化物	内臓除去	120	N. D. (1.5)	120	2.1
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	13	0.042	成魚	—	—	130	N. D. (9.3)	130	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.2	成魚	空胃	内臓除去	395.5	5.5	390	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.9	成魚	空胃	内臓除去	2633	33	2600	1.6
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.22	—	—	—	110	N. D. (1.7)	110	—
N-3	高瀬川本流	37.4754°	140.9598°	R6.12.11	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.015	—	—	—	72	N. D. (11)	72	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	45	0.011	幼虫(ヤコ)	—	—	7.4	N. D. (3.2)	7.4	—
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	ホンサナエ									
					脊椎動物	硬骨魚	カサガ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	6	0.045	未成魚	—	—	19	N. D. (3.2)	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ	18	0.030	未成魚/成魚	—	—	18	N. D. (3.5)	18	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.21	—	—	—	67	N. D. (1.4)	67	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。